



山内 陽子 議員

民生委員児童委員の活動支援と負担軽減

精神的、経済的負担をかけている現況をどう考えるか？

答 活動費は十分ではない、今後、前向きに検討したい

問 民生委員児童委員は、地域住民と行政の架け橋となる存在である。国の調査では、2日に1度の活動頻度で報酬はなく、責任の重さや負担感から引き受け手が減っている。現在、高島市では2名が欠員であり、来年の改選に向けて、活動の支援や負担の軽減が課題である。

答 健康福祉部長
活動費は県内で最も低い水準でした。平成26年度に一定の引き上げを行いました。十分なものではないと認識しておりますので、今後組織の運営や委員活動を推進させるため、前向きに検討してまいります。

問 活動費はたいへん少額であり、精神的負担に加え、経済的な負担をすることが多いと聞く。このような事態をどう思うか。

答 健康福祉部長
全国民生委員児童委員連合会の手引きに沿って、福祉の実践者と協働して活動することになっておりますが、今後は過大な負担にならないよう十分配慮した中でご協力をお願いしたいと考えております。



民生委員児童委員研修会の様子

その他の質問
● 廃食油運搬委託事業と廃食油処理委託事業
● 中学校の部活動とバス運行



青谷 章 議員

問 「スポーツツーリズム」をまちづくりと地域活性化の切り札に。

答 商工観光部長
市内では、各種大会やスポーツ関連イベント、合宿など、市が主催・共催する事業や民間主催の事業が数多く実施されており、宿泊も多いことから地域経済への影響は極めて大きいと考えます。

スポーツツーリズムの現状と課題

スポーツツーリズムの効果は？

答 宿泊も多く、地域経済への影響は極めて大きい

問 「スポーツツーリズム」に対する市の基本的な考え方は。

答 商工観光部長
スポーツツーリズムは、地域経済への波及効果だけでなく、地域スポーツ振興にも大きく寄与することから、「高島市スポーツ推進計画」において、スポーツ大会が誘致できる施設を整備し、宿泊施設と連携したスポーツツーリズムを推進します。

問 「スポーツ観光」の創出に向けての市の考え方と方向性は。

答 商工観光部長
スポーツ観光としてのアウトドアスポーツを強みとして、さらに営業を強化し、自然豊かなスポーツの盛んなまちとして売り出していきます。



市内外のランナーが参加したマラソンイベント「ウィングス・フォー・ライフ・ワールドラン」

用語解説

● **スポーツツーリズム**：スポーツと観光を融合させる取り組み。
● **エコロジカルスポーツ**：競争を目的とせず、自然の中で楽しむスポーツ。

問 現状での「スポーツツーリズム」の課題は。

答 商工観光部長
体育館やグラウンド等の施設数が限られていること



大勢の人で賑わうスキー場